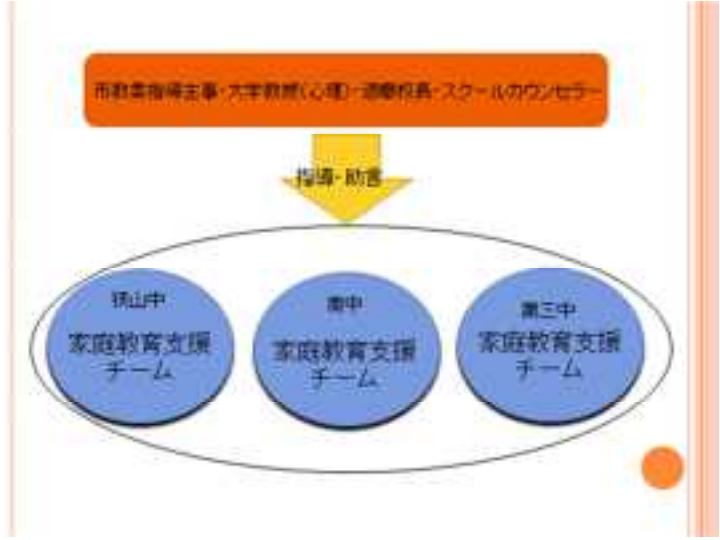


【家庭教育支援チーム】

| | |
|-----------------------------------|--|
| チーム名 (呼称) | 大阪狭山市家庭教育支援チーム (呼称:「狭山中・南中・第三中家庭教育支援チーム」) |
| 活動開始年度 | 平成20年度 |
| 活動拠点 | 大阪狭山市適応指導教室フリースクール「み・ら・い」 |
| 活動範囲 | 市内全域 |
| 活動財源 | <input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 () |
| 組織体制 | <p style="text-align: center;">13 人</p> <p>家庭教育サポーターリーダー3人・家庭教育サポーター3人・市教委指導主事1人・大学教授1人・退職校長1人・スクールカウンセラー1人、</p> <div style="text-align: center;">  </div> |
| 具体的な活動内容 | <ul style="list-style-type: none"> 3つの中学校区ごとに1人ずつ地域で活動する人材を家庭教育サポーターリーダーとして配置し、学生を家庭教育サポーターとして家庭教育支援チームを設置する。それぞれの中学校区の家庭教育支援体制を強化するとともに、個々の家庭の状況に応じた適切な支援活動を研究実施する。 |
| 活動を通して感じていること (成果、課題など) | <ul style="list-style-type: none"> 家庭教育サポーターリーダーについては、地域人材ということもあり、支援を必要とする家庭から親近感を持って受け入れられている。家庭教育サポーターは学生を対象としていることもあり、人材の確保が難しい点が課題である。 |